

一般質問



コミュニティバスの運行について



会派 きずな ● 永田 誠治 議員

問 普通免許で運転できる小型バスの導入について。

答 バス運転手は大型自動車二種免許の取得が必須ですが、乗車定員10人以下で旅客運送を行う場合、普通二種免許で運転できます。小型バスの導入により、運転手の確保という点では一策と考えられますが、タクシードライバーの確保も難しい状況と聞いております。

問 帰りバスの増便について。

答 地域交通を担うコミュニティバスとして、利用者や地域の声を把握した上で、ニーズに合った路線体系が推奨されるべきですが、慢性的なバス運転手の不足に加え、働き方改革関連法による、乗務員の労働時間の規制強化等の影響から難しい状況であるため、現行の路線維持を最優先として改善を進めて参りたいと考えているところです。

問 最終便をずらせることについて。

答 コミバスの運行体系は、1台のバスが、複数の路線を補完することでバスや運転手の効率性に重視した路線網としております。現在、9台の車両を平日9名、休日8名の運転手で何とか運行している状況であり、バスでの運行が難しい時間帯や一部路線においては、更にタクシー車両を活用して補完運行をすることで、市内の不便地域や交通空白地の解消維持も図っているところです。現状の運行体制で最終便の時刻を繰り下げることにについては、他の路線への影響もあり、困難であると考えております。



市民の移動、利便性の確保は行政の責任で



日本共産党湖南市議員団 ● 立入 善治 議員

地域公共交通の在り方について

問 地域交通の役割は。

答 市民の交通ニーズを把握し公共交通を限られた財源を活用し提供することです。

問 「めぐるくん」の来年度の路線改定で廃止された路線の復活は。

答 令和7年2月を目標に路線変更や時刻改定案を取りまとめ、改善策を進めています。

問 すべての移動手段を確保するための協議機関の設置は。

答 移動支援サービスや支えあい活動などは担当課が異なるが、共有を深めたいです。

豪雨災害による水害予防について

問 吉永の市道大溝線の地先の排水対策は。

答 大砂川上流からの伏流水と雨水が合流、市道の側溝整備を検討

します。

問 石部岡出の調整池に雨水が溜まらない対策は。

答 今年度調整池の劣化度等調査する業務委託を発注しています。

問 石部中央の住宅開発が下流域に及ぼす影響は。

答 区域内に調整池を設置、越流しない計画です。

問 落合川の改修について。

答 旧東海道から野洲川までの区間、本年度より事業着手されています。

障がい者移動支援等事業での助成金について

問 事業の助成金が十数年間見直されていないのはなぜか。

答 最低賃金や介護給付金の改定があり、関係機関と協議し令和8年実施で進めます。